

## 46 仕事率の測定

(戸田一郎)

(準備するもの)

①200cc入りの円筒形ポリエチレン容器

(株)井内盛栄堂製ポリ軟こう瓶120円 呉羽化学器械(株)より購入

②温度計

(使用方法)

生徒各自に100ccの水を入れた容器を与える。水温を測った後、蓋をさせ、教師のスタート合図で一斉に5分間手で容器を振らせる。

5分後水温を測定し、振動を与える前後の温度差と熱の仕事当量から、各自の仕事率を計算させる。

(備考)

①5分間では、約3℃前後の温度上昇が見られる。

②容器の側面にマジックインキで100ccの目盛り線を描いておくと水を入れる際便利である。